

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより 平成29年8月18日発行

8月の主な行事予定

8月30日(水)

中部地区社会教育関係者研修会 兼 中部地区生涯学習実践研究交流会(琴浦町生涯学習センター)



第3回中部地区人権教育懇談会(P T A対象)開催!

平成29年7月29日(土)に、北条農村環境改善センターで小学校から高校までのP T Aを対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。「地域と共に創るとっとり人権教育事業」で取り組んでいる人権教育プログラムを体験していただきました。保護者としていじめを深刻化させないためにどのような行動をとればよいのかを考えていきました。体験していただいたプログラムについては、研修会に生かしていただけるよう、使いやすいものにしていきたいと考えています。



人権教育プログラム体験「かけがえのないあなたたちへ(平成29年度版)」

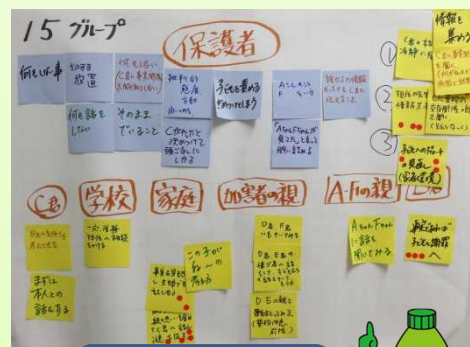
ファシリテータ 人権教育プログラム作成委員



資料「この子がね～」※要約

「おたくの子(C君)が友達を田んぼに落としている」とC君の母親に電話連絡が入る。叩いたり、蹴ったりしていることもあるという。驚く母親は、C君に確かめようとするが、いつもと変わらぬ笑顔のわが子に聞くことができない。父親に相談するが、子ども同士のことだからと騒がなくても大丈夫とのこと。C君のあとけない寝顔を見ながら悩む母親。「この子がね～」とつぶやく。

- 1 アイスブレイク グループ内で簡単なじゃんけんゲーム
- 2 展開① 資料「この子がね～」より、保護者の行動について話し合う。
 - ・C君の保護者がしてはいけない行動を考える。
- 3 展開② いじめを助長させないために保護者が取るべき行動を考える。
 - ・C君の保護者は誰に何をすべきか。取るべき行動を模造紙にまとめる。
- 4 まとめ(ファシリテータ)
 - ・加害者の保護者は冷静に子どもと話し合い、事実の確認をすることが大切です。その後、いじめられた子の気持ちに寄り添うための説諭が必要です。



模造紙に意見をまとめました。



【参加者の感想より】

- 今まで「わが子が」いじめていたら」と考えたことがなく、他の方のいろいろな意見を聞くことができ、参考になった。
- 普段から、子どもとのコミュニケーションをとり、信頼関係を築きたいと思った。子どもとの会話を今以上に大切にしたい。
- いじめは身近に起こっていること。もっとたくさんの保護者にこのような研修を受けてもらうことで、いじめ抑止につながると思った。
- 初めての参加で緊張していたのですが、臆することなく話し合えた。他のグループを回り、様々な考えを見ることができ、自分の考えが広がった。
- 保護者同士のつながりの大切さを再確認できた。学校だけでなく地域の協力もいただきたい。



中部地区社会教育関係者研修会兼 中部地区生涯学習実践研究交流会の 開催について

講師紹介

株式会社キラキラ雲南
常任相談役 土江博昭さん
中学校教員、島根県教育庁勤務等を経て、平成5年より加茂町教育長に就任。町村合併に伴い、平成16年より雲南市教育長。「家庭、学校、地域（企業）、行政の協働によるキャリア教育の充実」を目指し、「コーディネーター制度」の導入等を展開。文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会委員（平成17年7月～平成20年3月）、スポーツ・青少年分科会委員（平成20年4月～平成27年2月）等を歴任。

中部地区社会教育関係者研修会兼中部地区生涯学習実践研究交流会

みんなでつながろう ふるさとの未来へ
～共に考え共に活動する喜び～

全国的に少子高齢化や人口減少が進む昨今、学校・家庭・地域・行政では、教育の充実やまちの活性化、地域課題の解決などのために、連携・協働して様々な取組が行われています。これからのふるさとの未来をよりよくするためにどうしたらよいかを考えます。

日時 平成29年 **8月30日** (水)
13:30～16:40 (受付13:00～)

会場 琴浦町生涯学習センター
まなびタウンとうはく4階 研修室
東伯郡琴浦町徳万266-5 (電話:0858-52-1111)

内容

(1) 基調講演 13:40～15:10
「学校・家庭・地域（企業・NPO等）・行政の連携・協働による教育の充実～連携・協働の推進に社会教育が果たす役割～」

講師 株式会社キラキラ雲南 常任相談役 土江博昭さん

(2) 実践発表 15:20～16:20

①「今こそ絵本を！事業」でつながるまち北栄町をめざして
北栄町図書館 館長 妻由静代さん

②「運動会を通じた地域と学校との連携」
三朝町 小鹿地域協議会事務局 村岡健さん

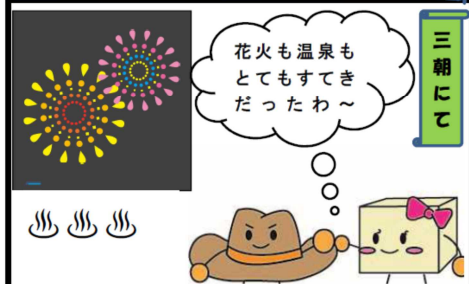
③「公民館と自治会とNPOとの連携で地域課題の解決を」
NPO法人 明倫NEXT100 川部洋さん



地域住民一人一人がつながり、関係性を深めていく取組を聞くチャンスです。活力ある地域づくりについて一緒に考えましょう。参加希望の方は中部教育局の西村までお願いします。



ちゅうぶくん ～夏の思い出～



【あとがき】

季節の変わり目である「立秋」が過ぎましたが、依然として猛暑が続いています。涼しくなる日は本当に来るのでしょうか。中部総合事務所は、17時過ぎに館内の冷房を切ります。途端に室温はみるみる上がり、あっという間にサウナ状態に。先日は、夕方なのにデジタル気温計は33.7度を表示していました。そんな中でも、局職員は黙々と仕事をしています。

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail nishimuran@pref.tottori.lg.jp